

地域情報（県別）

【愛知】全国2例目のHugo（ヒューゴ）による膀胱全摘手術を実施-成瀬友彦・春日井市民病院院長らに聞く◆Vol.2

前立腺全摘手術を1日2件、泌尿器科のHugo手術は年100件が目標

2024年8月23日（金）配信 m3.com地域版

春日井市民病院は、手薄であった泌尿器科の診療内容充実のため、手術支援ロボットHugo（ヒューゴ）を導入し、着々と実績を重ね始めている。成瀬友彦院長と高井峻泌尿器科部長に、ロボット導入の経緯や体制、展望について聞いた。（2024年6月14日インタビュー、計2回連載の2回目）

▼第1回はこちら

ロボット手術は教育面での優位性も

——ロボット手術の経験が豊富な高井峻医師を迎えて、人員体制を整えたのですね。

成瀬 高井先生は手術の実績が豊富なのですが、何より手術時間が短く、出血も少ないんです。Hugoの当院担当者もその丁寧さと素早さを絶賛していました。解剖学的な知識が深いのだろうと思っています。

高井 高い評価をいただき、恐縮です。知識というよりは、経験が大きいと感じています。私がロボット手術に出会ったのは、2007年に留学していたアメリカです。当時日本ではまだ一般的ではなかったロボット手術に触れて「やってみたい」と思い、2013年にはロボット手術のライセンスを取りました。その後、ロボット手術の執刀機会は決して多くはなかったのですが、助手として数多くの経験を重ねました。ロボット手術の良いところの一つは、手術室のスタッフが術者と同じ視界が持てること。録画や中継で画像を見ることもできるので、教育面でも優位性があると思います。

2019年に小牧市民病院に移ってからは、執刀や指導機会が増え、2019～2024年で執刀数は289件、指導を含めると500件に達しました。現在に至るまで、市立四日市病院、愛知医科大学病院、名鉄病院、刈谷豊田総合病院、小牧市民病院、岐阜県立多治見病院などに出向いて指導を行っています。

手術においては、プランニングやシミュレーションを怠らず、術中は“急げる部分を急ぐ”ことを意識しています。これまでの手術経験はほとんどがダビンチによるものですが、Hugoについても、開発時から学会などでデモ機を触っていたので、操作にハードルはありませんでした。オープンコンソールで声もこもりませんし、アームが独立していることもHugoのメリットです。手術に支障はありません。



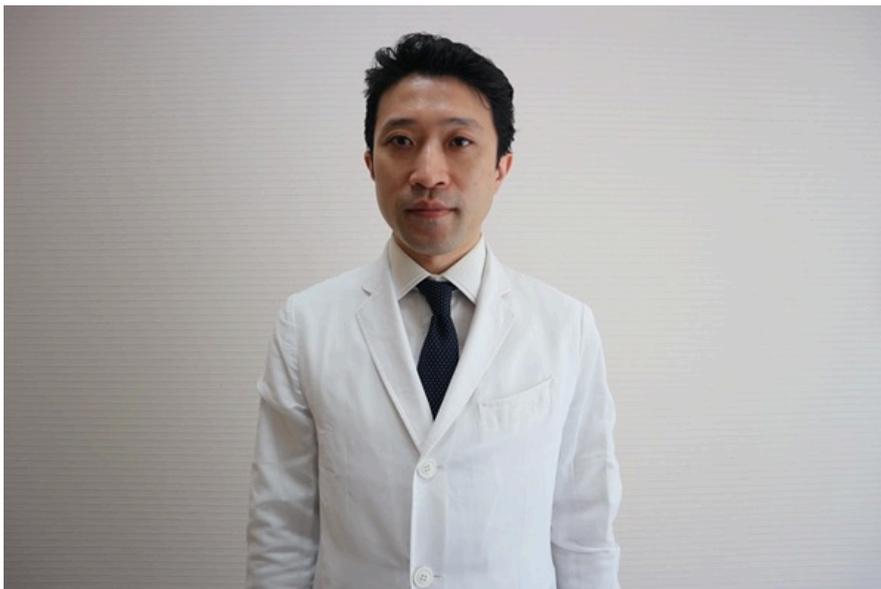
前立腺全摘ロボット手術の様子（春日井市民病院提供写真）

産婦人科や腹部外科にもロボット手術を適用

——これまでの手術実績と、今後の見通しを教えてください。

高井 Hugo導入から2カ月たち、前立腺全摘手術を7例実施しました。手術時間はダビンチと比較するとやや長いのですが、成績に遜色はありません。泌尿器科の医師たちはHugoのプロクターも取得しています。

成瀬 現在、前立腺全摘手術を1日に2件行っていますが、6月中に膀胱全摘手術を行う予定です。これはHugoによる膀胱全摘手術として全国2例目、体腔内尿路変向は全国初になります。7月以降は腎摘、腎尿管全摘、腎部分切除術、腎盂形成術も実施し、産婦人科手術への適用も開始予定です。さらに8月以降は、広く腹部外科にも活用していきます。泌尿器科のHugoの手術だけで、年間100件を目標としています。



高井峻氏

Hugo先行導入施設として指導や開発への協力も

——ロボット手術における春日井市民病院の対外的な影響力が高まりそうですね。

成瀬 1台目にHugoを導入した病院は少ないので、現在Hugoの当院担当者が、ほとんどの手術に立ち会ってくれています。テクニカルな面でのサポートがありがたいですし、Hugo側としては、ファーストモデルなのでデータを集めたのだと思います。Hugo先行導入施設として、症例見学や導入の支援・指導などにも積極的に関わっていきます。国際学会や論文などでも、積極的に発信していきたいですね。また、データの提供や実際の医師の声をフィードバックして、Hugoの今後の開発にも貢献したいと思っています。

高井 ちょうど近日、Hugoとの打ち合わせを予定しています。医工連携にも積極的に参画したいですね。

成瀬 近隣の医療者の方には、当院のロボット手術について知っていただき、ぜひご紹介もお受けしたいです。春日井市と小牧市は近いロケーションですが、よりお住まいの近くで手術・治療を受けたいという患者さんは多いので、泌尿器科診療が充実している小牧市民病院に加えて当院という選択肢が増えることは良いことだと思っています。ロボット手術の良い流れができれば、2台目の導入も積極的に検討したいと思っています。

◆成瀬 友彦（なるせ・ともひこ）氏

1989年名古屋大学医学部卒業。市立四日市病院、名古屋大学医学部附属病院などを経て、1997年春日井市民病院入職。2019年より現職。日本腎臓学会専門医、指導医、評議員、日本透析医学会専門医、指導医、評議員。名古屋大学医学部医

学科臨床教授。

◆高井 峻（たかい・しゅん）氏

2008年名古屋大学医学部卒業。市立四日市病院、名古屋大学医学部附属病院、小牧市民病院などを経て、2024年春日井市民病院、泌尿器科部長、ロボット手術センター部長。日本泌尿器科学会専門医、指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、代議員、日本排尿機能学会代議員、ダビンチ膀胱・前立腺プロクター、副腎・腎（尿管）プロクター、Hugo膀胱・前立腺プロクター。

【取材・文・撮影＝鈴木満優子】

記事検索

